

## 新しい基準における企業構築の完成

令和5年12月5日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

これらは製品とシステムにおける次世代基準への転換と、企業経営とシステムがグローバル基準において、与えられることである。

これらは企業の既存価値観が完全に崩壊することであるが、生き残りにおける絶対的な必要性であることは真実なのである。

これらは想像に勝る生産性と効率性への転換なのである。しかしこれらがグローバル基準であり世界の趨勢であることは否定できないのである。

これらは経済戦争の敗戦を有するなか、日本企業は必ず理解を求められる現実なのである。ビジネスにおける今日の現実市場の標準化とともに、想像に勝るスピードで変化しているのである。

これらが表記における企業構築の完成と記載したことについて、企業努力という日本の現実に対して、完成という一つの発言を求めたものである。

これらはグローバル滋養への参加が、これら企業の完成において、新たな現実や未来という可能性への参加を実現できるからなのである。

これらはグローバル企業が必ず理解する世界の現実への正しい企業判断であることを主張したい。

これらは既存現実と価値観からの完全な自己転換を要求されるものである。しかし、世界の現実がそれら真実を有するなか、それら変化という挑戦は不可避であるはずである。

他方においては、新しい企業の創造性がこれら現実とともに、未来という新しい世界への参加を可能とできるのである。

これらは、既存現実が、否定され、新しい未来が現実として存在することを伝えるものである。